

＝日を正しく数える 詩篇 90＝

1. 日を正しく数えるとは？

1-1 主に数えられる日

1-2 自分の日を正しく数える 90:12 何日地上で主に仕えていくかを数える。

「自分の日を正しく数えた」歩みの具体例：パウロ ローマ 13：11-14

2. これから日を正しく数えるためには

2-1 主との交わりを深くする。

ヨブ1:21-22、2:10、ヨブ42:5

2-2 主を畏れる。

90:12 知恵（キリスト）を得ることの前提は、主を畏れること。

「主を畏れることは知恵の初め」 箴言 1：7、9:10、15:33、詩110:10、

総ての結論 ⇒ ヨブ28:28

- ・ 人は塵であることの自覚。90:3、90:4-6、90:10、
- ・ 主の本質に触れる。

「主を畏れる」の反対：「自分を神とし、自分の上に権威を認めない」箴言 3:7

a) 健全な畏れを抱かないケース。

- ・ 恐怖となる。出20:18-21、イザヤ33:14
- ・ 恐れもせず、自分にとって都合のよい神様とする90:11、マラキ1:6、使5章

b) 健全に恐れを抱くケース。詩 33:18-19、詩 25:12、使徒 2:43、ルカ 1:50、使徒 9:31、使徒 10:35

3. 結論

2テモテ

4:6 私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。

4:7 私は勇敢に戦い、走るべき道のを走り終え、信仰を守り通しました。

4:8 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現われを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。

4:9 あなたは、何とかして、早く私のところに来てください。